

ROTARY 文章編 AT WORK

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介。600字以内。関連写真があれば添付してください。

地域中学生とのふれあい

津南ロータリークラブ

第二六三〇地区 三重県

私たちのクラブでは、地域の津南立橋南中学校の生徒を対象に、毎年「職業講話」や「職場体験学習」を行っています。

二〇〇一—二〇〇二年度、当時の会長と社会奉仕委員長の肝いりで、「晴れたらいいね Beautiful Sunday」と銘打って、二〇〇一年一〇月に橋南中学校の生徒と会員が海岸の清掃活動を行い、地域の環境について問題提起するとともに、一緒に汗をかき喜びを実感したことに始まりました。同年一二月には「Beautiful My Town 皆で語ろう我が街を」として、中学生と一緒に地域の環境問題について意見交換をしました。

これらの活動が端緒になって、翌年から毎年七月に「自分発見 中学生地域ふれあい事業」として橋南中学校から会員五〜六人が招かれ、交代で二年生の各クラスに出向き「職業講話」を行うことになりました。九月には、会員の事業所での職場体験学習に協力しています。

これらは、中学生たちに働くことの厳しさややりがい、人と人との対話やふれあいを通じて働くことの尊さや人としての生き方を考えるということが目的です。

今年も六月三〇日〜七月四日に、六人の会員が「職業講話」を行いました。午後一時半から五〇分間熱弁を振るい、対話をもち、ふれあいを深めました。講話を受けた生徒からは、新しい発見をした喜びや感謝をつ



橋南中学校で職業講話を行う会員

づった感想文が届けられています。この模様は、地元のテレビや新聞各紙にも取り上げられました。長期にわたって継続していることから、当地区内でも模範的な活動として評価されています。

(小川恭平・記)

きつと忘れない！ スポーツで学んだマナー

新川崎ロータリークラブ

第二五九〇地区 神奈川県

新川崎ロータリークラブは前年度の地区補助金対象事業として、NPO法人マナーキッズプロジェクトが推進する、マナーキッズテニス教室を開催しました。

六月六、一〇、一七、二〇日の四日間、川崎市立日吉小学校全児童と保護者を対象に開催したテニス教室では、ボールを追いかけるから「よろしくお願いします」、「ありがとうございませう」と、繰り返しいいさつ。テニスを通して、「頭を下げるのでなく、心を下げる」おじぎの仕方を勉強しました。

最後は一人ひとり握手をして、子どもたちに「楽しかった?」と聞くのと、笑顔で「はいっ」と元気な声が返ってきました。



スポーツを通してマナーを学んだ

また、小笠原流礼法常任理事・鈴木万亀子総師範からは、四つのマナーとして、①約束を守る、②自分がされて嫌なことは人にしない、③話は話をする人の顔を見て聞く、④あいさつは「心と心をつなぐ結びポン」であり、自分から見えないリボンを出して、相手が出してくれたリボンをつぶようにするものです、と教わりました。

今回のような活動がロータリーの支援のもと、全国に広がっていくことを期待します。子どもたちが生きていく上でのマナーを体得すれば、日本の未来もまんざらではない、と感じられる活動でした。

なお、この活動は地元紙などでも大きく取り上げられたことは、言うまでもありません。

(濱志津子・記)